

2024(令和6年度) 自己評価

横内幼稚園

A: たいへんよい
 B: よい
 C: 一部検討を要する
 D: 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善点
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1)保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	A				<ul style="list-style-type: none"> ・その年の子どもたちの実情、これから必要となる姿を踏まえた内容となっている。 ・前年度の反省点、良かった点を見直し職員で話し合いをし、保育内容を見直している。 ・PDCAの重要性を認識し職員全員で情報共有することができた。 ・今の子どもたちの様子を踏まえて日々の保育のねらい等は学年の職員と話し合い目標を持って保育できた。 ・保護者の願いや意見を積極的に取り入れ保育内容の見直しをしている。
	(2)目標は、園や地域の特色を生かしているか。	B				
	(3)目標は前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	A				
	(4)目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B				
	(5)P(計画)D(実施)C(評価)A(改善)の体制を取っているか。	A				
保育・教育について	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A				<ul style="list-style-type: none"> ・『クレド』がある事で職員の保育に対する共通理解もでき、日常的に保育の改善がなされている。 ・子どもたちが自由に使える素材や教材が充実している。教材研究を深め色々な素材を保育に取り入れていきたい。 ・子どもたちに無理のないディリープログラムであるが、職員把握できていない時があったので検討していきたい。
	(2)環境の構成を意識した保育や教育を常に工夫しているか。	A				
	(3)素材・用具を適切に活用しているか。	A				
	(4)評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A				
	(5)1日の流れ(ディリープログラム等)は現行でよいか。	A				
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か。	A				<ul style="list-style-type: none"> ・行事のときだけでなく保育を繋げていけるように子どもたちに声をかけている。 ・子どもたちには様々な経験を通じて成長してほしいが、時期が偏ってしまう為、時期、内容については毎年見直しや検討をする必要がある。 ・子どもたちは行事を通じて沢山の事が学べるので行事を行う上で子どもたちが主体的に参加できるようにねらいを明確にし、職員間で共有し進めるようにしたい。
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A				
	(3)子どもの活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	B				
	(4)計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A				
	(5)保護者の要望や意見を取り入れているか。	A				
職務	(1)能率的・合理的な運営組織になっているか。	A				<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年もチーム保育の為子どもたち一人一人に適切な配慮ができています。 ・係や仕事の分担が明確で担当が責任をもち、効率よく進める事ができています。 ・パソコンなどのIT機器が充実している為、業務が効率よく行えている。 ・学年ごと定期的に話し合いの時間が設けられていて保育に対しての共通認識がとれている。 ・職員全員で話し合う時間も充実させていきたい。
	(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	A				
	(3)係や仕事の分担・割り当ては適切か。	A				
	(4)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	A				
	(5)職員相互がそれぞれ全体的に立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設運営に関わっているか。	A				

項目	内容	評価				意見・改善点
		A	B	C	D	
クラス運営	(1)年齢別・クラス目標は保育目標に重点目標に基づいて設定しているか。	A				<p>・その年の子どもの成長によって異なるので短期・長期のねらいを一人一人に即したものにしていきたい。</p> <p>・異年齢児との交流する機会が少なかったように感じるので来年度はより多く交流しお互いに成長できるよう計画をたてていきたい。</p> <p>・乳児クラス、満3歳児クラスの保育交流が実施できて良かった。</p>
	(2)年齢別・クラス目標は乳幼児の実態に即して設定しているか。	A				
	(3)年齢別・クラスの短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	A				
	(4)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B				
	(5)評価、資料(諸記録)を集積しているか。	A				
特別支援教育	(1)全職員で情報を共有し、チームで対応しているか。	A				<p>・外部機関との連携をこれからも密にし、一人一人の子どもをこれからも大切にしたい。</p> <p>・アプリなどを使用し職員全員で情報を共有し、共通理解をして一人一人に配慮できるようにしている。</p>
	(2)個別指導計画を作成しているか。	A				
	(3)家庭と専門機関との連携を図っているか。	A				
保健・安全・防災教育	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	B				<p>・毎月行う避難訓練等は計画に基づき、年齢にあった訓練が適切に実施できた。</p> <p>・保護者と連携し引き渡し訓練を実施。園で非常食を昼食として食べるという体験を通じて、家庭でも親子で災害に備えた備蓄を考える良い機会となった。</p> <p>・引き続き、バス乗降や登園出欠管理をしっかりと行っていきたい。</p> <p>・定期的な保健だよりの配信、感染症の報告等で保護者への情報発信を行うことができた。</p>
	(2)子どもの安全確保のため、家庭、地域社会、関係機関等と連携を図っているか。	A				
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	A				
	(4)避難訓練・交通安全指導計画を計画に基づいて適切に実施しているか。	A				
	(5)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	A				
食育	(1)旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしているか。	A				<p>・引き続き、アレルギー対応児については園全体の職員全員への情報共有及びミールケアと連携し細心の注意をもって取り組んでいきたい。</p> <p>・園で5歳児全員に対して箸を購入し就学前までに子どもたちがお箸でご飯が食べられるように箸の持ち方、食事のマナーなどの指導に力をいれた。</p> <p>・年間を通じ田植え～稲刈り、野菜の収穫体験等、時期的に行事が重なってしまう事もあったが幼児期に貴重な体験ができた。</p>
	(2)年齢に応じて食事を楽しむことができる工夫や配慮がなされているか。	A				
	(3)子どもの食事環境や食事の提供が適切に行われているか。	A				
	(4)アレルギー対応については、保護者や職員・関係機関と連絡をとり適切に行っているか。	A				
	(5)食育の活動や行事について配慮や工夫がなされているか。	A				
園内研修	(1)研究テーマは保育目標の具体化につながるものであるか。	B				<p>・今年度も引き続き、嘔吐処理、熱中症やプールの研修等を計画でき保育にいかすことができた。</p> <p>・園内での公開保育の機会を増やし保育者がお互いに学び合える研修を実施していきたい。</p> <p>・保育の振り返りの時間を増やし、より充実した保育になるようにしていきたい。</p>
	(2)園内研修の計画・運営は適切か。	B				
	(3)研究の成果を日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させているか。	B				
	(4)研修の実践による子ども理解が深まりをみせているか。	A				
園外研修	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	A				<p>・園外研修に参加することで、他園、他校との職員交流もでき深い学びができた。</p> <p>・来年度も引き続き園外の研修に参加していきたい。</p>
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を職員に伝え、共通理解を図っているか。	A				

項目	内容	評価				意見・改善点
		A	B	C	D	
情報	(1)子どもや保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	A				・引き続き、個人情報の取り扱い・保護者、児童等についての守秘義務の重要性については園全体で共有し、細心の注意をして取り扱っていききたい。 ・れんらくアプリ『おうちえん』を活用し、子どもたちの日々の生活の様子や保育で大切にしている事など保護者に発信し、子どもたちの成長を共有していききたい。
	(2)知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。	A				
	(3)園だより・ホームページ等で施設や保育・教育内容の情報を保護者に発信しているか。	A				
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A				・子どもたちが安全で楽しく快適に過ごせるように、引き続き、職員による毎日の点検、及び外部による定期点検を続けていききたい。
	(2)遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	A				
	(3)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	A				
出納・経理	(1)各種会計を適正かつ適切に管理・処理しているか。	A				・引き続き、適切に管理していききたい。
施設間交流・連携	(1)他施設等の子どもと触れ合う中で、楽しく過ごし、充実感を味わう事ができるような配慮・支援を行っているか。	B				・小学校の公開授業にも多くの職員が参加する事ができ小学校の教育課程を理解することができた。スタートカリキュラムの研修を幼・小の教員で顔を見合わせ実現できると良いのではないだろうか。 ・公開保育では小学校の先生方も見学にこられて、幼児教育について理解が深まり、情報交換ができたので良かった。 ・小中一貫だけではなく、地域の方に幼小連携を発信して行ってほしい。
	(2)小学校との連携体制は整備され機能しているか。	A				
	(3)公開保育や参観、授業等に参加するなどして、幼稚園、小学校の教育を理解しているか。	A				
	(4)情報を交換し、それぞれ交流活動に生かしているか。	A				
家庭・地域との連携	(1)参観時間を制限せず、保護者以外にも対象とした参観日等を設定しているか。	B				・参加型参観会により多くの保護者に保育に参加してもらえた。 ・地域施設方との交流や地域の方が参加でき、園の保育方針等をより理解しているものにしていきたい。
	(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B				
	(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B				
	(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活様式に触れているか。	A				
子育て推進支援の	(1)地域の子育ての拠点として園庭の開放や子育て相談、保護者同士の交流の場として支援を行うように努めているか。	A				・園庭開放、子育て支援の催しなど積極的に増やし地域の未就園児やその保護者に来園する機会を増やした。 ・地域の専門機関とも積極的に連携を図り子どもたち一人一人の発達に即した保育ができるようにしている。
	(2)子どもの発達や教育・保育などについて、保護者会などの話し合いの場に加えて保護者と共通理解を得るための機会を設けているか。	A				
	(3)医療機関・児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A				
外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。	A				・意見箱を園内に設置し意見を反映するようにしている。
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	A				